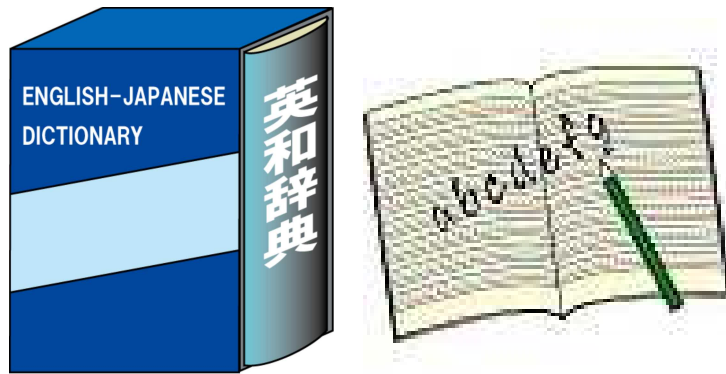


平成28年度山梨県学力把握調査

分析と授業改善のポイント

中学校英語版



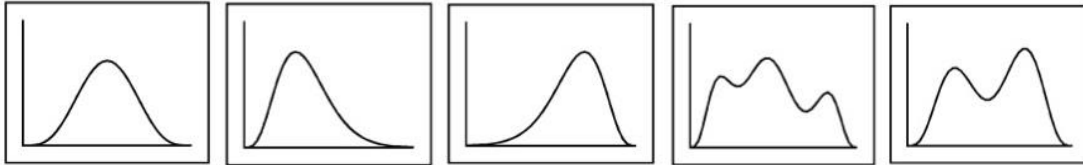
山梨県教育庁義務教育課

結果分析資料の見方

調査結果概況

【正答数分布グラフ】

- ・分布の形状から児童生徒の解答状況が分かります。
- ・各学校の集計支援ツールでは、形状だけでなく、県のデータとの比較もできます。



【設問別正答率・無解答率グラフ】

- ・設問ごとの、正答率や無解答率が分かります。
- ・正答率の低い設問、無解答率の高い設問などを見ることで、各学校の課題が見えてきます。

設問ごとの解答状況

【解答類型票】

- ・各設問の解答類型別の反応率を見ることで、誤答に目を向け授業改善の視点を探ることができます。
- ・解答類型は、一人一人の児童生徒の具体的な解答状況を把握することができるよう、設定する条件などに即して解答を分類、整理するためのものです。正誤だけではなく、一人一人の誤答の状況（どこでつまづいているのか）に着目して、学習指導の改善・充実を図ることができます。
(反応率は、小数第二位を四捨五入したものであるため、「正答」と「準正答」の反応率の合計と正答率が一致しない場合があります。)
- ・誤答の割合が高い類型に注目することで、児童生徒がどんなことにつまづいているのかが見えてきます。

「各領域の課題」と「授業改善のポイント」

- ・領域ごと、課題が見られた設問をもとに「授業改善のポイント」を示しました。各学校において「授業改善プラン」を作成する際に、参考にしてください。
- ・学校によっては、別の設問が課題となる場合があると思います。その場合は、「調査資料」などを参考に授業改善を図ってください。

各領域における課題のある設問の分析

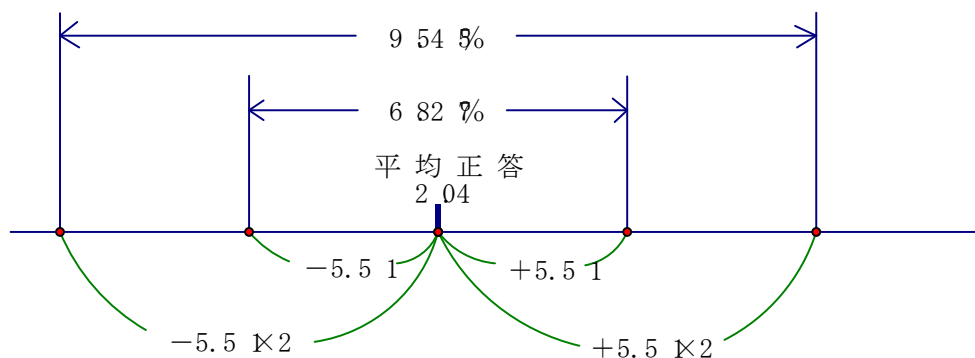
- ・課題のある設問については、以下の内容について記述しています。
 ■正答 ○正答率 ○誤答について
- ・本資料や、授業の改善・充実を図る際の参考となる「調査資料」を、各学年での日々の学習指導の改善・充実を図る際に活用してください。

～用語の説明～

「中央値」 例えば、対象生徒が121人の場合、その121人を、正答した数が多い順に1番から並べて、ちょうど真ん中の61番の生徒の正答数が中央値となる。一般的には、平均正答数より上か下かで自分の位置を把握することが多いが、中央値を基準にして見る方がより自分の位置をつかみやすい。また、集団同士を比べる場合にも中央値の違いに目を向けることが大切である。

平均正答数と中央値がほぼ一致している場合は、どちらで比べてもあまり変わりはないが、平均正答数と中央値が極端に異なる場合があるので注意する。

「標準偏差」 集団のデータの分布のばらつきを測る1つの尺度である。平均値と標準偏差がわかれば、データがどの範囲にどのような割合で散らばっているか（分布）がある程度、明らかになる。図で表すと次のようになる。



例えば、平均正答数が20.4、標準偏差が5.51の場合、 20.4 ± 5.51 （平均正答数±標準偏差）の範囲に全データの68.27%（約2/3）が含まれ、 $20.4 \pm 5.51 \times 2$ （平均正答数±標準偏差の2倍）の範囲内に全データの95.45%（約19/20）が含まれているという意味である。

標準偏差の値が小さければ、分布のばらつきが小さく、標準偏差の値が大きければ、分布のばらつきが大きいことを表している。自分の学校、学級のデータのばらつき具合を数値として知るために用いる。

「最頻値」 一般的には最も度数の大きい階級値を示すものであるが、本調査では、最も割合（相対度数）の多い正答数のことを指す。

※集団の傾向は、上述の指標となる数値を見ることと、正答数分布でそのちらばり具合をみることによって読み取ることができる。

「反応率」 児童生徒の解答を想定した解答類型に該当する児童生徒の解答数の全体に対する割合

| 問題番号 | 出題の要素 | 解答類型（割合%） ※下線が正答 | | | | | | | | | | 無解答 |
|------------------|---|------------------|------|------|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 | |
| 19 10 (1)② | 「家族4人が1人3分間ずつシャワーを使うと、お風呂に入る水の量より、シャワーで使う水の量のほうが多くなる」という考え方が正しいかどうかを判断し、そのわけを書く | 24.9 | 15.5 | 10.1 | 5.5 | 9.8 | 12.6 | 18.0 | 0.0 | 0.4 | 3.2 | |

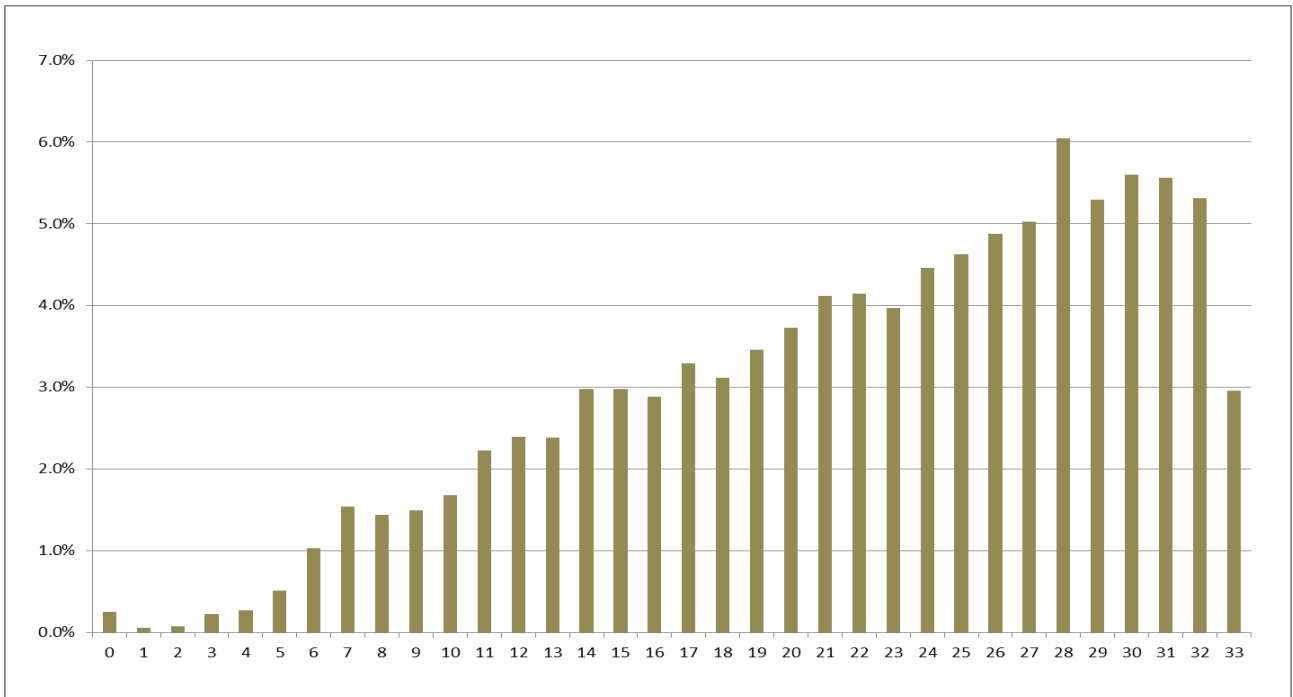
※上の表の○で囲んだ数値が、それぞれの解答類型の反応率（%）

平成28年度山梨県学力把握調査結果の分析〔中学校2年・英語〕

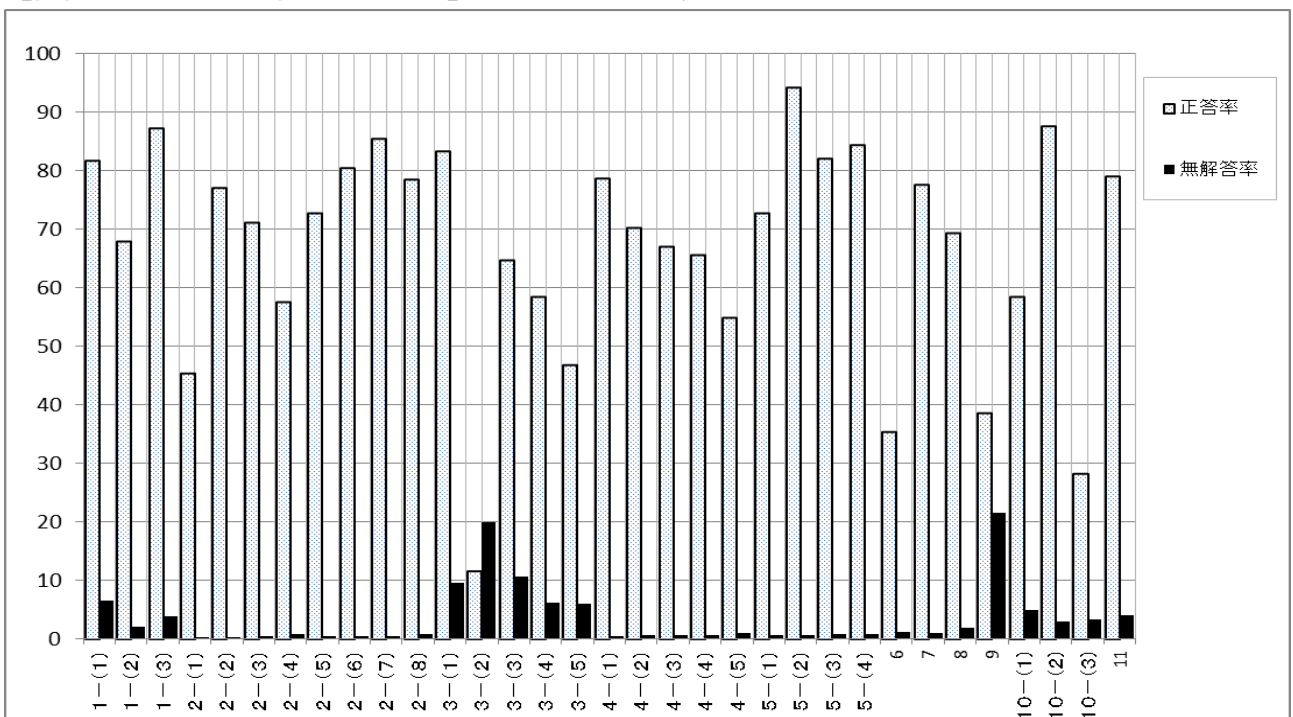
調査結果概況

| 調査人数 | 平均正答数／設問数 | 平均正答率(%) | 中央値 | 標準偏差 |
|-------|-----------|----------|-----|------|
| 6962人 | 22.2／33 | 67.2% | 23 | 7.51 |

【正答数分布グラフ】（横軸：正答数，縦軸：割合）



【設問別正答率・無解答率グラフ】（横軸：正答数，縦軸：割合）



設問ごとの解答状況

【解答類型票】

| 題号 | 設問番号 | 出題の要素 | 解答類型（割合％） | | | | | | | | | 無解答 |
|----|--------|------------------------|-------------|-------------|-------------|------|-----|-----|-----|-----|------|------|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | |
| 1 | 1-(1) | 符号を書く(アポストロフィー) | <u>81.7</u> | 0.1 | | | | | | | 11.7 | 6.5 |
| 2 | 1-(2) | 符号を書く(クエスチョンマーク) | <u>68.0</u> | 26.6 | | | | | | | 3.4 | 2.1 |
| 3 | 1-(3) | 符号を書く(カンマ) | <u>87.3</u> | 2.7 | | | | | | | 4.0 | 3.9 |
| 4 | 2-(1) | 文にふさわしい語を選択する | 43.8 | 10.3 | <u>45.5</u> | | | | | | 0.1 | 0.3 |
| 5 | 2-(2) | 文にふさわしい語を選択する | 18.8 | 3.5 | <u>77.2</u> | | | | | | 0.1 | 0.3 |
| 6 | 2-(3) | 文にふさわしい語を選択する | 16.0 | <u>71.3</u> | 12.2 | | | | | | 0.1 | 0.5 |
| 7 | 2-(4) | 文にふさわしい語を選択する | <u>57.6</u> | 25.6 | 16.0 | | | | | | 0.1 | 0.7 |
| 8 | 2-(5) | 文にふさわしい語を選択する | <u>72.9</u> | 10.1 | 16.5 | | | | | | 0.0 | 0.4 |
| 9 | 2-(6) | 文にふさわしい語を選択する | 7.9 | 11.0 | <u>80.6</u> | | | | | | 0.0 | 0.5 |
| 10 | 2-(7) | 文にふさわしい語を選択する | 4.5 | <u>85.5</u> | 9.4 | | | | | | 0.0 | 0.5 |
| 11 | 2-(8) | 文にふさわしい語を選択する | 6.3 | <u>78.6</u> | 14.3 | | | | | | 0.1 | 0.7 |
| 12 | 3-(1) | 文にふさわしい動詞を書く(be動詞) | <u>83.3</u> | 0.4 | 0.1 | | | | | | 6.7 | 9.5 |
| 13 | 3-(2) | 文にふさわしい動詞を書く(一般動詞) | <u>11.8</u> | 26.0 | 1.0 | 4.0 | 3.7 | 4.5 | | | 29.0 | 19.9 |
| 14 | 3-(3) | 文にふさわしい動詞を書く(一般動詞) | <u>64.8</u> | 9.2 | 0.6 | 3.8 | 0.9 | | | | 10.1 | 10.6 |
| 15 | 3-(4) | 文にふさわしい動詞を書く(一般動詞) | <u>58.5</u> | 17.2 | 3.9 | 3.7 | | | | | 10.6 | 6.1 |
| 16 | 3-(5) | 文にふさわしい動詞を書く(一般動詞) | <u>46.9</u> | 12.0 | 1.7 | 24.1 | | | | | 9.2 | 6.0 |
| 17 | 4-(1) | 文にふさわしい語を選択する | <u>78.8</u> | 6.1 | 14.5 | | | | | | 0.1 | 0.5 |
| 18 | 4-(2) | 文にふさわしい語を選択する | 19.7 | <u>70.4</u> | 9.2 | | | | | | 0.1 | 0.6 |
| 19 | 4-(3) | 文にふさわしい語を選択する | <u>67.1</u> | 13.3 | 18.8 | | | | | | 0.1 | 0.6 |
| 20 | 4-(4) | 文にふさわしい語を選択する | 10.0 | 23.5 | <u>65.7</u> | | | | | | 0.1 | 0.6 |
| 21 | 4-(5) | 文にふさわしい語を選択する | 33.8 | <u>54.9</u> | 10.2 | | | | | | 0.1 | 1.0 |
| 22 | 5-(1) | 会話の流れにふさわしい文を選択する | 18.0 | 8.5 | <u>72.9</u> | | | | | | 0.1 | 0.6 |
| 23 | 5-(2) | 会話の流れにふさわしい文を選択する | 3.2 | <u>94.3</u> | 1.8 | | | | | | 0.0 | 0.6 |
| 24 | 5-(3) | 会話の流れにふさわしい文を選択する | 10.4 | 6.8 | <u>82.1</u> | | | | | | 0.0 | 0.7 |
| 25 | 5-(4) | 会話の流れにふさわしい文を選択する | <u>84.5</u> | 2.5 | 12.1 | | | | | | 0.1 | 0.8 |
| 26 | 6 | 英文の内容に合う組み合わせを選択する | 26.5 | <u>35.5</u> | 6.7 | 29.2 | | | | | 0.9 | 1.2 |
| 27 | 7 | 英文の内容に合う写真を選択する | <u>77.6</u> | 8.4 | 3.3 | 9.6 | | | | | 0.1 | 1.0 |
| 28 | 8 | 英文の内容に合う文を選択する | 6.1 | <u>69.5</u> | 11.2 | 11.1 | | | | | 0.0 | 1.9 |
| 29 | 9 | 英文を書く | <u>31.0</u> | <u>7.8</u> | | | | | | | 39.6 | 21.5 |
| 30 | 10-(1) | 英語を並べ替える(Let's~を用いた英文) | <u>53.2</u> | <u>5.3</u> | 5.2 | 29.3 | | | | | 2.2 | 4.8 |
| 31 | 10-(2) | 英語を並べ替える(一般動詞の命令文) | <u>72.3</u> | <u>15.3</u> | 2.4 | 4.6 | | | | | 2.5 | 3.0 |
| 32 | 10-(3) | 英語を並べ替える(一般動詞の疑問文) | <u>27.4</u> | <u>0.8</u> | 59.9 | 6.6 | | | | | 2.0 | 3.3 |
| 33 | 11 | 英文を書く | <u>39.7</u> | <u>0.7</u> | <u>38.8</u> | 12.6 | 0.1 | 1.6 | 0.2 | 0.5 | 2.0 | 4.0 |

「各領域の課題」と「授業改善のポイント」

<言語材料>

文の意味にふさわしい一般動詞を判断し、正確に書くことができる。

[3 (2)]
(11.8%)



□文法指導を言語活動と一体的に行う指導の充実

- ・「動詞の活用」三人称単数現在形に関しては毎年課題が見られる。言語材料の知識や理解を深める言語活動と実際に自分の気持ちや考えを伝える言語活動とバランスよく配置し、活動を通して定着を図ることが大切である。特に、「動詞の活用」においては、様々な動詞を使って口頭練習を行った上で、書く活動を取り入れ正確に英文を書く場面を設定することが考えられる。

<言語材料>

文の構造を正しく理解することができる。

[10 (3)]
(28.3%)



□文法指導を言語活動と一体的に行う指導の充実

- ・文の構造を正しく理解すること、特に What 名詞 do you ~?の表現に関しては毎年課題が見られる。この表現は小学校外国語活動において、チャンツ等を通して学習をしている。導入時に、小学校外国語活動で慣れ親しんだ活動を取り入れ、耳に慣れ、口に慣れた上で、名詞や動詞を変えて、表現の幅を広げていくことが大切である。既習事項を取り入れることによって、言語活動の量と質を高めることにもつながる。

<読むこと>

英文を読んで大切な部分を正確に読み取ることができる。

[6] (35.5%)



□まとまりのある文から、大切な部分を読み取ったり、概要をまとめたりする活動の充実

- ・教科書の本文を読み取らせる際の課題として、訳読式にとどまらず、教師が「テキストの何をどのように読み取らせたいのか」を明確にし、様々な課題 (T/F, Q&A, 図や表等) を用意することが考えられる。また、テキストの読み取りの前に、オーラル・イントロダクション等で概要を提示し、無理なく読み取りに入る工夫をすることによって、読むことへの楽しさを感じさせることも大切である。

<読むこと・書くこと>

会話文の流れを理解した上で、会話の流れにあった内容を伝えることができる。

[9] (38.8%)



□読んだことに対して書く、または聞いたことに対して書く等技能を統合した活動の工夫

- ・教科書の内容の扱いを充実させ、教科書で学習した内容をもとにした言語活動を仕組むことが考えられる。「ダイアログの一部分を変えてスキットをつくる」、「教科書の内容の続きをつくる」等の活動が考えられる。

各領域における課題のある設問の分析

問題3 (2)

3 次の(1)～(5)の日本語の意味に合うように、()に当てはまる最も適当な語を一語ずつ書きなさい。

(2) 美香(Mika)のお母さんは学校で働いています。

Mika's mother () at school.

■正答 works

○正答率 11.8%

○誤答について

- ・ 類型9 29.0% workのスペルミス、過去形等で解答している生徒
- ・ 無解答率 19.9%
- ・ 無解答を含め、正答できなかった生徒は、「働いています」という動詞がworkであることを理解していなかったと考えられる。また、workとわかっているにもかかわらず、スペルミス等正しく記述できなかったと考えられる。

問題10 (3)

10 次の(1)～(3)はAとBの会話です。それぞれの()に当てはまる文を、[]内の英語を並び替えて書きなさい。なお、文頭の文字については、大文字に書き替えなさい。

(3) (友だちとの会話で)

A: I like tennis very much.

()?

B: I like baseball.

[you / sport / do / like / what]

■正答 What sport do you like

○正答率 28.3%

○誤答について

- ・ 類型3 59.9% What do you like sport?と解答している生徒
- ・ 疑問詞の後はdoもしくはbe動詞と機械的に捉えていると考えられる。
- ・ 平成27年度の学力把握調査においても同様の課題が見られ、正答率は35.1%であった。また、類型3 What do you like color?と解答している生徒は49.8%であった。

(3) A: You have a blue cap and a blue bag today.

B: I like blue very much. ()?

A: I like red.

[do / color / like / what / you]

問題6

- 6 次の英文は、アメリカの中学生のナンシーが一日の生活を書いたものです。下の表のA～Dの事柄について、ナンシーの一日の生活の内容を正しく表している組み合わせをア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。（*は注の語を示します。）

注

*hour(s)：時間

I get up at six thirty every morning. I have breakfast at seven and go to school by bus. We have four classes in the morning. We have lunch at twelve. After lunch, we have three classes. I like English very much. After school, I play soccer. At home, I play the piano. After that, I have dinner at eight. Then, I study for two *hours. I go to bed at eleven.

| | A 朝食の時間 | B 一日の授業数 | C 放課後にすること | D 夕食後にすること |
|---|------------|-------------|---------------|---------------|
| ア | 6:30 | 4 | サッカー | 勉強 |
| イ | 7:00 | 7 | サッカー | 勉強 |
| ウ | 6:30 | 6 | 勉強 | ピアノ |
| エ | 7:00 | 7 | サッカー | ピアノ |

■正答 イ

○正答率 35.5%

○誤答について

- ・ 類型4 29.2% エと解答している生徒
- ・ 時を表す前置詞等（After that, Then）の語句の意味を、正しく捉え、時系列を整理できていないことが考えられる。

